

ぎふ健康づくり応援プロジェクト 2021 ~健康経営のすすめ~



利用者の健康増進を図るために開設された「MISAOフィクササイズセンター」

人生100年時代、いつまでも健康でいきいき働くためには、健診や人間ドックにより、自らの健康状態を知ることが大切です。企業というチーム全体が、心と体の健康を大切にすれば、チームのパフォーマンス、生産性は必ずしも向上するでしょう。私たちもその一助となれば幸いです。

Prevention～予防を超える医療」。病の早期発見のみならず、病が未病のうちにその芽を断つために何ができるかということです。その一環として昨年2月に開設したのが「MISAOフィクササイズセンター」で、医師や理学療法士らがチームを組み、生活習慣病予防や日常生活を妨げる痛みを和らげるための運動療法を支援しています。パーソナルトレーニングで薬に頼らない「ファーマーフリー・フィットネス」、体の痛みの解消を目指す「ヘルスマップ・リハビリ」は着実に実績を上げて

さらに目指すのは、「Beyond MISAO」として取り組んできました。また、現下のコロナ・パンデミックでは、まさに肥満・高血圧や糖尿病などの生活習慣病やがんなどが重症化因子となつており、これまで以上にこれらの早期発見とケアに注力していきます。

健康経営には、従業員の健康状態を把握する定期健診は必要不可欠です。当院は開院時、民間医療機関として県内で初めて人間ドック部門を設け、人間ドックや健康診断を通じて、今日まで皆様への「健康プロバイダー」として取り組んできました。

従業員の健康状態を把握しよう

操健康クリニック 院長 操 裕氏

企業が従業員の健康づくりをサポートすることにより企業価値の向上が期待できるという「健康経営」が注目されています。健康経営の第一歩は、健康診断です。1977年の開院以来長きに渡って、健康診断や人間ドックに力を入れている操健康クリニックの操裕院長に健康経営の大切さやクリニックの取り組みなどについて聞きました。



「健康に関することは何でも挑戦する」と語る操裕院長

健康経営の第一歩は、 健康診断

「健康経営」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。

わたしたちは、ぎふ健康づくり応援プロジェクトに参画しています

主催 岐阜新聞社

特別協賛 AXA

アクサ生命

協賛

操健康クリニック

特別協力

全国健康保険協会 岐阜支部
協会けんぽ

協力

岐阜県 岐阜労働局 岐阜県商工会議所連合会